

平成 31 年度

施政方針

竹 富 町

目 次

1	はじめに	1
2	町政運営、施策の基本的な考え方	2
3	ふるさとづくりの基本目標について	2
4	安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり	3
5	幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり	4
6	島人を育て心を育むふるさとづくり	5
7	環境を守り自然と調和したふるさとづくり	5
8	活力あふれ飛躍するふるさとづくり	6
9	個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり	6
10	参画と協働による町民が主役のふるさとづくり	7
11	結びに	8
	平成 31 年度竹富町一般会計予算案並びに特別会計予算（案）	9
	ふるさとづくりの基本政策に基づく主な施策	10

平成31年竹富町議会3月定例会の開会に当たり、私の町政運営に対する、基本的な方針を申し上げ、町民の皆様並びに議員各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

1 はじめに

私が、我が町、竹富町の心豊かなふるさとづくりへの熱い思いを抱き、町政の舵取り役を担わせていただいてから、早いもので3年目を迎えます。

昨年度は、町制施行70周年の佳節を町民の皆様並びに姉妹町斜里町・友好都市対馬市の皆様、関係各位の御協力を賜り、盛大に実施することができましたことに対し、衷心より御礼申し上げます。

町制施行70周年記念として、多くの記念事業を展開してきたなかでも、東京国立劇場において開催いたしました、「沖縄県竹富町島々の民俗芸能～世乞い～」、「姉妹町盟約45周年記念竹富町民号」の北海道斜里町への訪問や「竹富町海洋シンポジウム～隔ての海を結びの海に～」など、町民の皆様、関係機関の皆様の御協力がなくては実施できなかったイベントも滞ることなく盛大に開催することができました。

本町は、東西約42km、南北40kmの広範囲に点在する16の島々からなり、周辺の海域を含めると約630km²となる「日本最南端の島しょ型海洋自治体」でございます。

昨年は、急激な社会情勢の変化・度重なる自然災害など、行政を運営するに当たっては依然として厳しい状況にありましたが、本町におきましては、今年度策定する「竹富町総合計画」や昨年策定しました「第2次竹富町海洋基本計画」で示した様々な事業の実施や本町が抱える各種課題に向け、取り組んでまいります。

町民の皆様並びに議員各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

2 町政運営、施策の基本的な考え方

私は町長に就任以来、町政運営のモットーに「決める行政、決める政治」を掲げ、多くの目標や政策をスピード感を持って実行できるよう、課題解決に向け、職員の先頭に立ち取り組んでまいりました。

今年度は、竹富町の今後 10 年間の中・長期的展望を見据えた総合計画の策定や 4 年に一度の「ばいぬ島まつり」の開催、石垣支所整備に向けた取り組み、世界自然遺産登録への再挑戦の年となっております。そのため、「協働と協調のふるさとづくり」を重点におき、本町の産業振興、超高齢社会への対応、子育て世代への支援等、島々における均衡ある諸施策を展開し、「行政サービスの維持確保と住民の利便性の向上」「持続型社会の実現に向けたふるさとづくり」「愛着と誇りを共有できるふるさとづくり」に向け邁進する所存でございます。

3 ふるさとづくりの基本目標について

基本目標の第一は、「協働と協調のふるさとづくり」であります。

町政運営に取り組むうえで、多様化する地域の課題解決を行政のみで行うのは困難な状況が予測されます。

多様な町民ニーズの把握、広報誌やホームページなどを活用した行政情報の提供・公開の推進、各公民館との連携強化、男女共同参画の推進など、町民と行政が地域の課題を共有できる場づくり、住民主体の地域づくりの支援をおこない協働と協調のふるさとづくりに取り組んでまいります。

第二は、「行政サービスの維持確保と住民の利便性の向上」であります。行政サービスの拠点となる役場本庁舎移転につきましては、町民の更なる利便性向上と行政サービスの維持確保のため、昭和 44 年に建設され、48 年余を経過し、老朽化により危険な状態となっている現庁舎の早期建て替

えを柱とした石垣支所の整備、出張所建設の諸条件整備を進め、西表島への本庁舎早期移転に向け、鋭意、取り組んでいるところでございます。

今後は財政リスクや、庁舎整備に係る諸課題の情報を開示し、議会と協調のもとにその解決に向けて全力を尽くしてまいります。

町民の声、公民館からの要望、各種団体等の課題に柔軟に対応するため、スピード感をもって課題解決に取り組んでまいります。

第三は、「持続型社会の実現に向けたふるさとづくり」であります。

本町の貴重で豊かな自然環境を保全・活用しつつ次の世代に継承していくため、世界自然遺産への登録の条件整備、自然環境に配慮した水資源の確保と安定的かつ効率的な水道事業の拡充、島ごとの歴史・文化・集落景観の保全、育成に努め、将来にわたる生活の基盤となる環境の保全と経済発展が両立できるような持続型社会の実現に取り組んでまいります。

第四は、「愛着と誇りを共有できるふるさとづくり」であります。

昨年度は、これまで先人から脈々と受け継がれ守られてきた島々の民俗芸能を国立劇場において披露したところであります。当日は、多くの方々に御鑑賞いただき、竹富町の島々の魅力をしっかりと伝えることができました。このような貴重な文化遺産を保全・活用し町民が愛着と誇りを共有できるまちづくりを進めてまいります。

これまで、申しあげました町政運営や施策の基本的な考え方、ふるさとづくりの基本目標に基づき、平成31年度の基本政策につきまして、その大要を御説明申し上げます。

4 安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり

昨年度は、西表干立地区において地域防災力強化の取り組みとして、自主防災組織の立上げを進めるなか、夜間の避難訓練なども行いました。そ

の中で、大規模災害が発生した際への対応として、自助・共助が機能する実践的な訓練を行うことで、一人一人の役割分担が十分はたせるような隣保協同による防災活動の重要性や、住民の防災訓練への積極的な参加を図り、町内全域での自主防災組織育成に向けた取り組みを進めてまいります。今後とも関係機関、地域との連携を密にしながら、地域防災力の強化、交通安全対策や犯罪防止に努めてまいります。また、安全で快適な道路空間が図られるよう、各地域からの要望等も踏まえ計画的な町道整備を推進し、地域ごとの特性や課題に応じて、町営住宅の整備を実施し、竹富町の島々らしい魅力ある道路や住宅・居住環境の提供に努めてまいります。

水道事業については、昨年度に実施した配水管更新調査設計を基に黒島配水管更新工事を実施します。また、水道水の安定供給を行うために、経年劣化により漏水が発生している配水管更新に係る調査設計業務を実施し、工事着手に向けて取り組んでまいります。

下水道・農業集落排水事業については、排水処理による環境保全と衛生的な生活環境を維持するため既存施設の適正管理に努めていきます。また、平成28年度に策定した「竹富町特定環境保全公共下水道長寿命化計画及び基本設計」に基づき竹富浄化センターの機械設備等の更新工事を実施します。

5 幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり

九つの有人島を有し、独自の文化が根づく本町において、高齢者の皆様がいつまでも住み慣れた島々で安心して、自分らしく明るく健康な生活をおくることができるよう、「高齢者にやさしいまち ぱいぬ島“結”プラン21」の見直しを行うほか、昨年度から3年計画で「竹富町第8次高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画」を進めております。

この計画を基に高齢者の社会参加、生きがいつくりに向け、共に世代を

超え「結いの心」で支える、やさしいまちづくりの実現に向け、行政や介護・医療・福祉関係者等との連携を密にし、地域の実情を考慮しつつ、住民主体型の継続的な高齢者福祉施策の充実に努めてまいります。

障がい福祉等については、必要な障害福祉サービスやその他支援を受けながら地域の中で安心して暮らせるよう障害福祉サービスの提供基盤の整備に努めてまいります。

6 島人を育て心を育むふるさとづくり

今年度は、「子ども・子育て支援新制度」に基づいた「第1期竹富町子ども・子育て支援事業計画」の最終年度となります。

島々での子育てを地域社会で支えるため、地域の保育ニーズを踏まえながら安心して出産や子育てができる環境整備に向けた「第2期竹富町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、また、昨年度に引き続き、経済的負担軽減に向けた移動交通費や宿泊費等の支援に取り組んでまいります。

児童生徒の心身の健全な発育に資するため、安全・安心で快適な教育環境づくりを推進し、小中併置校の特性を活かした小中連携・一貫教育に取り組んでまいります。また、幼児・児童生徒一人一人の可能性を伸ばし、未来を切り拓く資質・能力の育成を図るため、ICT支援員派遣、スポーツ等各種大会への派遣費を支援し、併せて社会教育・生涯学習等の機会充実に取り組んでまいります。また、第2次竹富町海洋基本計画のもと、本町の自然的地理条件を活かし、将来にわたり海洋の恵沢を享受できるよう学校教育における海洋教育を推進していきます。

7 環境を守り自然と調和したふるさとづくり

これまで、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」の世界自然遺

産登録に向け、鋭意、取り組んでまいりましたが、今年度は、登録へ向け関係機関との連携を密にし、更なる諸条件の整備に取り組んでまいります。また、人と希少野生生物との共存共栄、観光客の増加による諸課題の解決、自然環境・生物多様性の保全、希少な野生生物の保護、生活環境・公衆衛生の向上及び地域の環境美化等に取り組んでまいります。さらに、第2次海洋基本計画を基に排他的経済水域に寄与する有人国境離島としての役割を果たすべく、海洋環境の保全と利活用を行うなど、海洋施策に取り組んでまいります。

8 活力あふれ飛躍するふるさとづくり

課題となっている海上、航空交通網の解消にむけ関係機関と連携を取り、町内交通の円滑化と利便性向上に取り組んでまいります。

商工業については、伝統工芸品の技術継承と後継者育成を推進し、特産品や竹富町ブランドの普及のために関係機関と連携し取り組んでまいります。また、基幹産業である、さとうきび、水稻、パインアップル、マンゴー、肉用牛、その他の農林水産業については、各種事業、交付金を活用した施設整備、安定した産業基盤づくりの支援、地域資源を活用した新たな産業や付加価値の高いブランドの創出に係る支援を行います。また、新規就農者の確保及び担い手の育成・支援に取り組んでまいります。

9 個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり

昨年は、町制施行 70 周年、北海道斜里町との姉妹町盟約 45 周年の節目にあたり、交流を通じて斜里町との友好の絆を強めることができました。また、友好都市の対馬市との交流も行うことができました。

愛着と誇りを持てるまちづくりを目指して、島々の伝統文化や芸能の振

興、地域資源を活用した新しい魅力を創造し、イメージの向上を図ってまいります。また、超高速ブロードバンドの環境整備の推進により教育と医療の充実に併せ、地域住民の利便性向上や産業等の活性化、ICTを活用した就業創出と竹富町地域おこし協力隊の活用による移住・定住促進に取り組み地域活性化につなげていきます。さらに、観光振興基本計画を基に、滞在型観光を促進することを目的とした誘客宣伝活動及び受入体制強化・整備を関係市町と連携し取り組んでまいります。

10 参画と協働による町民が主役のふるさとづくり

竹富町総合計画第4次基本構想・第8次基本計画が平成31年度で終了することから、今後10年間の中・長期的展望を見据えた計画を地域住民の参画のもと策定してまいります。また、今年度は、4年に一度の「ぱいぬ島まつり」を全町民参画のもとで開催し、島々との交流をとおして活力に満ちた竹富町を創造してまいります。

財政の健全化と安定した財政基盤の確立に向け、昨年同様に経費の削減に努め、沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）事業、沖縄離島活性化推進事業費助成金事業や有効な起債事業等の活用、各種基金の有効な運用に取り組んでまいります。また、今後実施する役場移転や公共施設等の整備及び更新については、PPPやPFIといった公民連携の活用も視野に入れ、係る経費の財政負担の平準化に取り組んでまいります。

自主財源の確保については、昨年度に引き続き、国税・県税・近隣自治体との連携を強化するとともに、課税客体を的確に把握し、滞納繰越額縮減と納税手続きの利便性に努め、収納率の向上を図ってまいります。併せて、ふるさと納税を推進してまいります。

1 1 結びに

以上、平成 31 年度の町政運営に対する基本的な考え方と基本政策について、その概要を御説明申し上げます。

これまでの説明をもとに予算編成した結果、一般会計では、前年度当初比 13.1%増の 77 億 1,702 万円としました。また、特別会計では、前年度当初比 15.4%増の 16 億 350 万 9 千円としたところです。

一般会計と特別会計を合わせた予算案の総額としましては、前年度当初比 13.5%増の 93 億 2,052 万 9 千円としました。

それぞれの予算案の総額と主な施策については、後掲のとおりでございます。

具体的な内容については、予算審議をとおして御説明申し上げますこととしておりますので、何卒、御理解を賜りたいと存じます。

町民の皆様並びに議員各位におかれましては、なお一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます、平成最後となる平成 31 年度に臨む施政方針といたします。

平成 31 年 3 月 8 日

竹富町長 西大舛 高旬

平成 31 年度竹富町一般会計予算案並びに特別会計予算（案）

一 般 会 計 予 算	7,717,020 千円
国民健康保険事業特別会計予算	612,077 千円
介護保険事業特別会計予算	410,157 千円
後期高齢者医療特別会計予算	34,144 千円
水道事業特別会計予算	463,996 千円
下水道事業特別会計予算	70,313 千円
農業集落排水事業特別会計予算	12,822 千円
総 額	9,320,529 千円

ふるさとづくりの基本政策に基づく主な施策

① 安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり

交通安全（交通安全意識の啓発活動の推進、強化）

消防・防災対策（消防団員教育訓練の充実強化・自主防災組織の育成）

干立地区防災機能改善事業

小浜島細崎地区防災拠点施設整備事業

防災行政無線屋外拡声装置整備事業（竹富島）

小型動力ポンプ付軽消防自動車導入事業（西表消防分団）

黒島配水管更新工事

石垣島～竹富島海底送水管更新調査設計業務

竹富島配水池更新調査設計業務

大富送水管更新調査設計業務

竹富浄化センター水処理施設機械設備等更新工事

西表東部レクリエーション施設事業（継続）

加屋真島観光関連事業（継続）

町営住宅整備事業（白浜第二団地4号棟）（継続）

町道荒原線道路改良工事（継続）

町道竹富9号線外道路整備事業（継続）

町道竹富一周線道路整備事業

② 幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり

妊産婦支援事業（妊婦出産にかかる経済的な負担軽減）

健康増進事業（各種がん検診、健康教育・相談、食生活改善等）

難病等患者支援（渡航費及び宿泊費の助成）

国民健康保険事業（保健指導、保険税の適正賦課及び収納対策）

後期高齢者医療事業（疾病、負傷等に関する給付金の支給）

介護保険事業（第7期介護保険事業計画の推進、介護保険事業の普及
啓発、介護給付の適正化への取り組み、地域診療所との
連携による医療と介護の連携体制の構築の推進）

高齢者福祉事業（渡航費の助成、お出かけサポート事業）

障がい福祉事業（渡航費及び宿泊費の一部助成）

竹富町民等船賃負担軽減事業

③ 島人を育て心を育むふるさとづくり

妊産婦支援事業（渡航費、宿泊費、航空運賃等の助成）

乳幼児健康診査事業（赤ちゃんの発育・栄養状態の確認、先天性疾病
の早期発見、予防接種事業等）

母子保健事業（両親学級、乳幼児相談、離乳食・幼児食実習等）

こども医療費助成事業（こども医療費及び渡航運賃等の助成、こども
医療費貸付制度の推進）

児童福祉事業（複合型福祉施設整備事業）

小浜小中学校教員宿舎新築工事

学力向上推進

小中連携・一貫教育の推進

竹富町海洋教育の推進

図書館教育の充実

竹富町児童生徒の心と体を育む支援事業

外国語指導助手派遣事業

学校 ICT 支援員派遣事業

ホームステイ事業

鳩間島留学制度事業

子どもたちの眼を紫外線から守るプロジェクト

社会教育・体育・生涯学習の充実

④ 環境を守り自然と調和したふるさとづくり

沿岸域の総合的管理に関する共同研究事業の推進

食品ロス削減事業

し尿処理施設整備計画業務

竹富町一般廃棄物処理事業

生活環境の保全対策（清掃点検、そ族昆虫駆除の実施）

不法投棄対策・海岸漂着物対策

地球温暖化対策の推進

竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護事業

外来種駆除事業

有害鳥獣駆除事業

世界自然遺産登録の推進

デイゴヒメコバチ防除事業

⑤ 活力あふれ飛躍するふるさとづくり

沖縄県超高速ブロードバンド環境整備促進事業

離島航路確保維持改善事業費等補助金

さとうきび生産事業（植付・収穫機械化の促進、沖縄製糖業体制強化）

支援事業：製糖業等宿泊施設整備(小浜地区)

もちきび生産事業（収穫作業の軽減担い手農家の確保、販売の促進）

水稲生産事業（ミルキーサマー等の普及拡大）

パインアップル、マンゴー、かぼちゃ、ばれいしょ等生産事業

（各種事業を活用した生産支援、優良種苗の普及促進、栽培講習会の実施、ブランド化の推進）

畜産事業（家畜伝染病予防対策事業、優良母牛導入事業、優良妊娠牛導入事業、畜産担い手育成総合整備事業）

竹富町労働力確保事業実現可能性調査

県営水利施設整備事業 基幹水利施設整備型（上原1期地区）（継続）

県営農地整備事業経営体育成型（与那良原地区）（継続）

多目的機能支払交付金事業（上原西表地区）

中山間地域等直接支払交付金（上原西表地区）

人・農地問題解決加速化支援事業（農地の集積・集約化）

新規就農者の確保及び担い手の育成（農業次世代人材投資事業、新規就農一貫支援事業）

赤土流出防止対策の推進

無人飛行機を活用した離島住民の豊かな生活サービスの向上実証事業

⑥ 個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり

竹富町観光誘客・受入対策事業

（宣伝誘客活動、受入体制整備、観光人材育成、）

竹富町地域おこし協力隊の活用

重要伝統的建造物群保存修理事業

竹富町古謡発表会開催補助

文化財美化保全事業

竹富町デンサ節大会開催補助

竹富町史編集事業（第十一巻資料編 新聞集成Ⅷ、竹富町史だより）

⑦ 参画と協働による町民が主役のふるさとづくり

竹富町総合計画第5次基本構想・第9次基本計画策定業務

第5次竹富町国土利用計画策定業務

第9回ばいぬ島祭りの開催

公共施設等総合管理計画に基づく公共施設整備の推進

頑張る地域応援プロジェクト

竹富町役場石垣支所整備及び役場移転への推進

自主財源の確保

（徴税職員併任人事協定に基づく滞納整理、徴収率向上、悪質な滞納者に対する公売やタイヤロックなどの実施、口座振替及びコンビニ収納等の推進、竹富町ふるさと納税制度の推進）